



今、ここ

めざす子どもの姿 ～ やさしく かしく たくましく ～

「合言葉」わたしが主人公 一人一人が主人公

ーわたしがわたしをつくる。わたしの学校をつくるー

令和4年12月9日 第7号

銭座小学校 校長 丸山朋子

○「秋」から「冬」へ

「朝・夕は冷えますが日中は暖かいですね。」
などと、会話をすることが多かった11月でした。

12月。ようやく寒さもやってきたようです。

様々な校外学習や体験活動が、目白押しの
2学期もいよいよクライマックスです。

○小音会 練習の成果、ステージ上で実る!!

「カントリーロード。銭座小学校4年生、5年生
のみなさんです。」のアナウンス。

子どもたちの緊張感が客席まで伝わってくる。
同時に、しっかりとした立ち姿の一人一人が
「わたし」としてステージに在り、輝きを放つ。

さあ、一人一人が力を出し、一つのことを創り
上げる時が来た。



残念ながら中止となった昨年の小音会、現6年
生は先輩の卒業をお祝いするリーコーダーの演奏
に挑戦し、保護者の皆様にも聞いていただきました。

そして、今年、11月8日(火)。コロナ対策の上で
開催が実現し、銭座小からは4・5年生が二学年
合同で参加しました。

5年担任の総合指導、4年担任の指揮というパ
ワーあふれる環境の中、練習に励んだ子どもたち。
音楽指導のスペシャリストの先生にも来ていた
だき、力を伸ばしました。「励ます会」では、保護者の
皆様も見守る中、6年生をはじめとした在校生の
思いを受け取り、当日に挑みました。

ホールに広がる清々しく明るい歌声。軽やかなリ
コーダーの音色。「今、ここ」で最善を尽くしました。

今年も保護者の皆様においでいただけませんで
した。とても残念です。現状をご理解いただき、子
どもたちを支え、励ましてくださったことに、心からお
礼を申し上げます。

また、この会も企画・運営くださったたくさんの皆
様がおられます。子どもたちと共に感謝したいです。

○主人公たちの姿

自分たちのルール。自分たちで見つめてみよう。

クロームブック。生活や学習を豊かにする道具です。
一方、使い方によっては、目への負担や寝不足等々の
体への影響、人間関係・コミュニケーションへの影響
などの課題も生じます。

先日、3年生で「休み時間もずっと、クロームブック
やってる」「いいの?」と疑問が浮上したようです。担任
の先生の促しもあり、みんなで、話し合うことに。

話し合いはルール作りに向けて、様々な意見が出されま
した…。が、ここで一石が投げられたようです。

「ルールを決めたら『守る、守らない』についても考え
ていかななくてはならないよ」、と。ここで話し合いの流れが
変化し、ルールは決めないことになり、一人一人が時間
を考えて使う大切さを共有したようです。

ルールは、「自分たちのために」あるもので、ルール
によって「わたしは」守られているのですから、「わたし
も」ルールを守らなくてはなりません。一方、ルールは
「何にでも効く万能薬」ではありません。

3年生が、クロームブックの使い方について「自分の
こと」として話し合ったこと。

言われたことを守る・守らない
の視点ではなく、「自分の行動」
を視点に考えるという変化・変容
を感じます。



「桜の木は見た?!」 ～優しい行い～

早朝、早く学校についたからと、3年生と5年生
の2人が落ち葉掃除を手伝ってくれました。登校
時刻になり、2人は教室へ。わたしも、外回りのた
め作業を一旦休止しました。

時間をおいて戻ってくると、落ち葉がきれいに掃
き取られ、掃除道具も片付けられていました。きっ
と、一度教室に行ってランドセルの片付けやプリン
ト類の提出を済ませ、再び落ち葉掃除をしてくれ
たのでしょう。

「銭座っ子」の優しさに、
心があたたまる思いでした。



○充実の2学期。体験を通してたくさんの方のことを学習しました。

晴天が続いた2学期。各学年で計画された校外学習も、予定通り実施することができました。お世話になった地域の皆様、各施設の皆様方に心から感謝申し上げます。ほんの一部ですが、子どもたちの学びの様子をお届けできればと思います。

〈お話の扉：1年生〉エプロンシアター、ペープサート、拡大装置を使った読み聞かせ、紙芝居など…。たくさんのお話と出会いました。お話の扉の皆様、本当にありがとうございました。



〈秋を探して：1年生、2年生〉持ち帰った落ち葉やドングリなどのお土産は、色々な作品に変身しました。春の遠足よりずっと長かった長崎公園までの道のりをみんな元気に歩き通したことも大きな収穫でした。



〈笑いヨガ、車いす体験、警察署見学：3年生〉スーパーマーケット見学。ご高齢の皆様と共に体験した笑いヨガ。車いす体験。わたしたちの暮らしの安全を守ってくださる警察署への訪問…。どの学習も意欲的でした。



〈あじさい荘訪問：4年生〉高齢者の皆さまを対象とした福祉センターを訪問。様々な体験を通して高齢者の皆様と交流しました。合唱とリコーダーの演奏のプレゼントで感謝の気持ちを表すと、大きな拍手をいただくことができました。



〈メディアの安全な使い方：5年生、6年生〉

11月30日。第2会学校保健委員会が開かれ、5・6年生も学習しました。親子で一緒にルール作りをするなどして、子どもたちが当事者意識を持って行動できればと願います。ご参加いただいた保護者の皆様、ご多様な中ありがとうございました。学級懇談会等の機会に話題にさせていただけると幸いです。



〈人権の絵 制作：全校縦割り班活動〉

2学期、異学年のメンバーで取り組んだ、縦割り班活動。遊びや掃除など、様々な活動で生き生きと行動する姿がありました。「人権の絵」制作もその一つで、人権とは何かを学んだ子どもたちは、「人権が大切にされた学校生活」を考え、縦割り班で協働して絵に表現しました。一つの班で1枚ずつ、全部で8枚の絵が完成しました。



活動後の振り返りから、この絵にこめた子どもたちの思いが伝わってきました。そのいくつかは、人権担当発行の「黄色いリボン」に掲載されています。ご覧になりましたか？

この新しい取組が、どのように変容していくのか、引き続き子どもたちの姿に注目していきます。

さて、どの縦割り班活動も、各班のリーダーたちの思いや行動する姿が、鍵となっています。この日も、活動後、後始末をする5・6年生の姿がありました。誰にも気づかれなくてもいい目立たないところ。でも、大切なところですよ。ありがとう。



朝の玄関前、登校してきた4年生が、「見ていてください」と言って、ハーと息を吐きました。吐く息がほんの少し白く色づいて見えました。冬ならではの情景でした。

子どもたちは、登校中も、五感を通じて季節の変化を感じ取っているのですね。何かとあわただしい日々、皆様、どうかご自愛ください。